

## 7 調査票

# 伊丹市の地域福祉に関する市民意識調査

## ～調査ご協力のお願い～

市民の皆様へ

日頃より福祉の推進について、温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成15年3月に「伊丹市地域福祉計画」を策定し、「共生福祉社会の実現」をめざして施策を推進してきました。

この度、新たな計画策定にあたりまして、市民の皆様にご意見やご提案をおうかがいするため、アンケート調査をお願いすることといたしました。

この調査は、18歳以上の伊丹市民の中から無作為に抽出した3,000人を対象に無記名で行い、ご記入いただいた内容については、統計的に処理しますので、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成21(2009)年9月

伊丹市

### 【ご記入にあたってのお願い】

1. 回答は、宛名のご本人が平成21年9月1日現在の状況をご記入ください。ご本人が病気などで回答いただけないときは、代理の方がご本人の気持ちをお聞きしながら回答くださいますよう、お願いいたします。
2. 回答は、あてはまる番号を で囲んでください。質問ごとに「1つに」「あてはまるものすべてに」などとそれぞれ指定されていますので、ご注意ください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、無記名で 9月30日(水)までに ご返送ください。(切手は不要です)
4. この調査について、または記入上ご不明な点は、下記までお問い合わせください。



伊丹市 健康福祉部 地域福祉課  
電話：784-8099 (直通)  
ファックス：784-8036  
E-mail：chiiki-f@city.itami.lg.jp

あなたやご家族のことについて

問1 あなたの性別をおうかがいします。(どちらかに)

1. 男性 2. 女性

問2 あなたの年齢をおうかがいします。(1つに)

1. 18～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳  
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上

問3 あなたが現在一緒に住んでいる家族構成をおうかがいします。(1つに)

1. 本人がひとり 2. 夫婦だけ  
3. 親と子の二世帯 4. 親と子と孫の三世帯  
5. その他(具体的に)

問4 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の中に、次のような方(あなた自身も含まれます)はおられますか。(あてはまるものすべてに)

1. 乳幼児(小学校入学前の子ども) 2. 小学生  
3. 中学生 4. 高校生  
5. 65歳以上の方 6. 介護を必要とする方  
7. しょうがいのある方 8. いずれもない

問5 あなたの現在の職業をおうかがいします。(1つに)

1. 商工業や農業等の自営業主及びその家族従事者  
2. 公務員・教員 3. 民間企業・団体に勤務  
4. 自由業(開業医、弁護士など) 5. パート・アルバイト・派遣社員  
6. 家庭で内職 7. 学生  
8. 家事専業 9. 無職(学生・家事専業を除く)

問6 あなたがお住まいのしょうがっこう小学校区はどこですか。わからない方は、「せんぞ干僧1丁目」などと住所きにゆうをご記入ください。

- |                                  |                                |                               |                                |                                 |                                  |
|----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. <small>いたみしょう</small> 伊丹小     | 2. <small>いなしょう</small> 稲野小    | 3. <small>みなみしょう</small> 南小   | 4. <small>かみつしょう</small> 神津小   | 5. <small>みどりがおかしょう</small> 緑丘小 | 6. <small>さくらだいしょう</small> 桜台小   |
| 7. <small>てんじんがわしょう</small> 天神川小 | 8. <small>ささはらしょう</small> 笹原小  | 9. <small>みずほしょう</small> 瑞穂小  | 10. <small>ありおかしょう</small> 有岡小 | 11. <small>はなさとしょう</small> 花里小  | 12. <small>こやのさとしょう</small> 昆陽里小 |
| 13. <small>せつようしょう</small> 摂陽小   | 14. <small>すずはらしょう</small> 鈴原小 | 15. <small>おぎのしょう</small> 荻野小 | 16. <small>いけじりしょう</small> 池尻小 | 17. <small>こうのいけしょう</small> 鴻池小 |                                  |
- しょうがっこう小学校区がわからない方は、住所を かた丁目までお書きください。 いたみし伊丹市 ちようめ丁目

問7 現在のしょうがっこう小学校区にお住まいになられて何年になりますか。(1つに )

- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. <small>ねんみまん</small> 5年未満     | 2. <small>ねんみまん</small> 5～10年未満  |
| 3. <small>ねんみまん</small> 10～20年未満 | 4. <small>ねんみまん</small> 20～30年未満 |
| 5. <small>ねんいじゆう</small> 30年以上   |                                  |

## ちいき ふくし かん いしき こうどう 地域や福祉に関する意識・行動について

問8 あなたの考える「ちいき地域」の範囲はんいをお答えください。(1つに )

- |                                       |                                     |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. <small>きんじよ</small> となり、近所という範囲    | 2. <small>じちかい</small> 自治会という範囲     |
| 3. <small>しょうがっこう</small> 小学校区という範囲   | 4. <small>ちゅうがっこう</small> 中学校区という範囲 |
| 5. <small>いたみしぜんたい</small> 伊丹市全体という範囲 | 6. <small>た</small> その他(具体的に )      |

問9 あなたとご近所きんじよの人との関係は次のどれに近いですか。(1つに )

1. きんじよ近所の人とよく行き来している
2. あ会えば話をする人がいる
3. ていどあいさつする程度の人がいる
4. きんじよ近所づきあいをほとんどしていない → とい問9-1へ

問9-1 問9で「4. 近所づきあいをほとんどしていない」を選んだ方におうかがいします。

あまり近所づきあいをされていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに )

1. 仕事などで家をあけることが多く、知りあう機会がない
2. 近所づきあいはわずらわしいので避けている
3. 近所づきあいはしたいが、つい消極的になってしまう
4. 近所づきあいはしたいが、仲間に入れてもらえない
5. ふだん留守の家が多いなど、そもそも近所づきあいのほとんどないところである
6. その他(具体的に )

問10 あなたがお住まいの地域(小学校区)の環境について、どのように思いますか。

	1	2	3	4
<p>~ のそれぞれの項目について、あなたのお気持ちに一番近い答えの番号(1~4)を1つ選んで をつけてください。</p>	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 あまりそうは 思わない	4 まったく思わない
住んでいる地域に愛着を感じている	1	2	3	4
買物などの日常生活が便利である	1	2	3	4
地域活動やボランティア活動が活発である	1	2	3	4
近所づきあいや助け合いなど近隣関係が良好である	1	2	3	4
道路や公共交通機関(鉄道・バスなど)が利用しやすい	1	2	3	4
子どもの遊び場などが充実している	1	2	3	4
高齢者やしょうがいのある人が憩える場所などが充実している	1	2	3	4
静かで緑が多いなど環境が良好である	1	2	3	4
治安が良く安心して住める地域である	1	2	3	4
防災対策が充実して安心して住める地域である	1	2	3	4

とい 問11 あなたは、<sup>ちいき</sup>地域の<sup>ぎょうじ</sup>行事や<sup>ちいきかつどう</sup>地域活動などへの<sup>さんかけいけん</sup>参加経験がありますか。

1. <sup>さんか</sup>参加したことがある。  
どのような<sup>かつどう</sup>活動ですか。 ⇒  
(あてはまるものすべてに )

- ア. <sup>ほんおど</sup>盆踊りや<sup>うんどうかい</sup>運動会などのイベント
- イ. <sup>ピーティーイーかつどう</sup>P T A 活動
- ウ. <sup>じちかい</sup>自治会、<sup>ろうじん</sup>老人クラブ、<sup>ふじんかい</sup>婦人会、<sup>こ</sup>子ども会<sup>かいかつどう</sup>活動
- エ. <sup>せいそう</sup>清掃などの<sup>かつどう</sup>ボランティア活動
- オ. その他 ( <sup>た</sup>具体的に )

2. <sup>さんか</sup>参加したことがない。 ⇒  
<sup>おも</sup>主な<sup>りゆう</sup>理由を教えてください。  
( 1 つに )

- ア. <sup>きょうみ</sup>興味のある<sup>ぎょうじ</sup>行事、イベントがないから
- イ. <sup>ひと</sup>人との<sup>かんけい</sup>関係をあまり<sup>も</sup>持ちたくはないから
- ウ. <sup>じょうほう</sup>情報が<sup>はい</sup>入りにくいから
- エ. <sup>じかんでき</sup>時間的な<sup>よゆう</sup>余裕がないから
- オ. <sup>し</sup>知らない<sup>ひと</sup>人ばかりで<sup>さんか</sup>参加しにくいから
- カ. <sup>かんしん</sup>関心がないから
- キ. その他 ( <sup>た</sup>具体的に )

とい 問12 あなたの<sup>ちいき</sup>地域の<sup>ぎょうじ</sup>行事や<sup>かつどう</sup>活動などについての<sup>かんしん</sup>関心は、<sup>いぜん</sup>以前と<sup>くら</sup>比べて ( <sup>やく</sup>約 5 年前と <sup>くら</sup>比べて )  
どのように<sup>へんか</sup>変化したと<sup>かん</sup>感じますか。( 1 つに )

- 1. どちらかというより<sup>かんしん</sup>関心を<sup>も</sup>持つようになった
- 2. どちらかというより<sup>かんしん</sup>関心がなくなった
- 3. <sup>とく</sup>特に<sup>へんか</sup>変化はない



( 5 )

問13 あなたの地域の行事や活動が、地域でもっと活発に行われるようにしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに )

1. 困ったときに、住民同士が今以上に助け合える関係をつくる
2. 顔見知りの関係を広げる
3. 新築マンションの入居者など、新たに住む人との関係づくりを強化する
4. 自治会や老人クラブ、婦人会、子ども会などの活動をもっと活発にしてい
5. 小学校区ごとの活動をもっと活発にしてい
6. 学校・地域・家庭のつながりや連携をもっと深める
7. 地元の事業者など、事業者と住民のつながりをもっと深める
8. その他(具体的に )

問14 あなたは、福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどに参加したことがありますか。(1つに )

1. よく参加している
2. 時々参加している
3. あまり参加したことがない
4. まったく参加したことがない

問15 あなたは、地域の福祉課題を話し合う会議や懇談会(ワークショップなど)に参加したことがありますか。(1つに )

1. よく参加している
2. 時々参加している
3. あまり参加したことがない
4. まったく参加したことがない

問16 あなたは、市全体の地域福祉に関する行政と住民との協働(パートナーシップ)について、どのように感じていますか。(1つに )

1. よい関係ができている
2. どちらかというともい関係ができている
3. よい関係ができている
4. わからない

問17 あなたは、本市での福祉サービスや福祉活動の情報提供について、どのように感じていますか。(1つに )

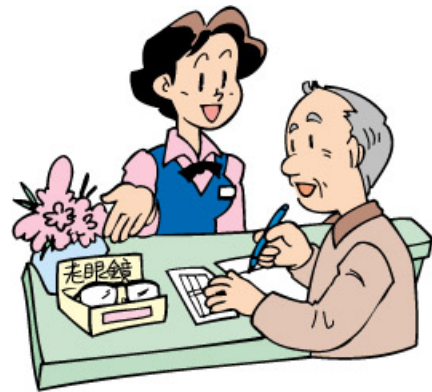
1. 十分提供されている
2. どちらかというとも提供されている
3. どちらかというとも提供されていない
4. わからない

問18 あなたは、福祉に関するさまざまな相談窓口などの必要な福祉サービス情報は、十分に入手できていますか。(1つに )

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分に入手できている   | 2. ある程度入手できている  |
| 3. ほとんど入手できていない | 4. まったく入手できていない |

問18-1 問18の答えは、以前と比べて(約5年前と比べて)どのように変化したと感じますか。(1つに )

1. どちらかというより入手しやすくなった
2. どちらかというより入手しにくくなった
3. 特に変化はない



生活課題や福祉について

問19 あなたは、日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに )

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと    | 2. 自分や家族の老後のこと  |
| 3. 子どもの教育や将来のこと   | 4. 乳幼児の育児に関すること |
| 5. 介護に関すること       | 6. 収入など経済的なこと   |
| 7. 地域での人間関係のこと    | 8. 家族の人間関係のこと   |
| 9. 住宅のこと          | 10. 地域の治安のこと    |
| 11. 地震や火事などの災害のこと | 12. 働くこと(就職・失業) |
| 13. その他(具体的に)     | 14. 特にない        |

問20 もし、あなた自身がさまざまな場面で困ったとき、家族以外の誰に相談しますか。8を選んだ方は、ア～ウについても選んでください。（は3つまで）

- |   |  |
|---|--|
| 1. 近隣の知人  | 2. 友人、サークル仲間   |
| 3. 職場の同僚、上司   | 4. 市役所などの行政機関  |
| 5. 医師、看護師、保健師   | 6. 社会福祉協議会   |
| 7. 民生委員・児童委員  |  |
| 8. 専門相談機関 [ ア. 地域包括支援センター、イ. 地域生活支援センター、ウ. 介護支援センター ] |  |
| 9. どこに相談したらよいかわからない                                   | 10. その他 <span style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">具体的に</span> |

問20-1 相談できる相手先は、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（1つに）

1. どちらかという範囲が広がった
2. どちらかという範囲が狭くなった
3. 特に変化はない

問21 あなたは、福祉に関心をお持ちですか。（1つに）

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. まったく関心がない |

問21-1 あなたは、福祉への関心について、以前と比べて（約5年前と比べて）どのように変化したと感じますか。（1つに）

1. どちらかというより関心を持つようになった
2. どちらかというより関心がなくなった
3. 特に変化はない

問22 あなたは、「権利擁護」という言葉をご存知ですか。(1つに )

1. 知っている

2. 知らない

問22-1 あなたは、「地域福祉に関する権利擁護」についてご存知ですか。(1つに )

1. よく知っている

2. ある程度知っている

3. あまり知らない

4. まったく知らない

注1: 「地域福祉に関する権利擁護」とは、次のようなことを含みます。

日常生活自立支援事業：認知症高齢者や知的障害のある人、精神障害のある人など判断能力が不十分な人に対して、社会福祉協議会が実施主体となって福祉サービスの利用手続き援助や日常的な金銭管理などを行う事業です。平成19年4月1日より「地域福祉権利擁護事業」から名称が変更されました。

苦情解決：事業者などが提供する福祉サービスについて、利用者などからの苦情の適切な解決を図るため、受付の窓口や第三者委員会などを設置して対応を行うことをいいます。

虐待防止：高齢者やしょうがいのある人、児童などに対する虐待をできる限り早く発見し、相談やサービス利用などの対応を行うとともに、困難事例については関係機関などで協議し対応方法を検討する取り組みのことをいいます。

問23 あなたは、地域の福祉課題に対し、住民相互の自主的な支え合い、助け合いの必要性についてどう思いますか。(1つに )

1. とても必要だと思う

2. ある程度必要だと思う

3. あまり必要だとは思わない

4. まったく必要だとは思わない

問23-1 問23の答えは、以前と比べて(約5年前と比べて)どのように変化したと感じますか。(1つに )

1. どちらかというより必要だと思うようになった

2. どちらかというより必要だとは思わなくなった

3. 特に変化はない

注<sup>2</sup>  
問24 あなたは、小地域福祉活動をご存知ですか。

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない | 4. まったく知らない  |

注2: 「小地域福祉活動」とは

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていけるよう、地域住民が支援を必要とする高齢者などに実施している見守りや声かけ、地域ふれ愛給食サービス・福祉サロンや子どもたちへのおもちゃライブラリーなどの活動のことです。

問25 あなたは、小地域福祉活動に参加していますか。

サービスの提供など支援をする側として（1つに ）

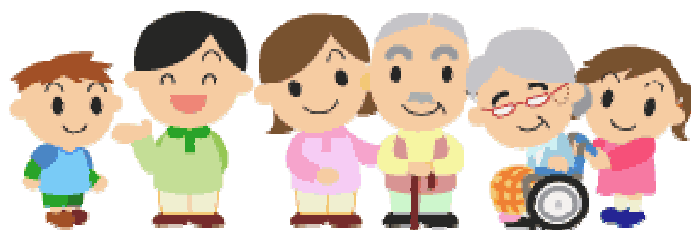
- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. よく参加している     | 2. 時々参加している      |
| 3. あまり参加したことがない | 4. まったく参加したことがない |

サービスの利用など支援を受ける側として（1つに ）

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. よく利用している     | 2. 時々利用している      |
| 3. あまり利用したことがない | 4. まったく利用したことがない |

問26 あなたは、今後、小地域福祉活動に参加したいと思いませんか。（1つに ）

- |                   |              |
|-------------------|--------------|
| 1. ぜひ参加したい        | 2. できれば参加したい |
| 3. あまり参加したいとは思わない | 4. まったく興味がない |



問27 今後、ご近所とのおつきあいの中で、「手助けしたい」と思うことがありますか。  
 (あてはまるものすべてに )

1. 話し相手
2. 相談ごとの相手
3. 買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い
4. 子どもを預かったり、外遊びの見守りなど
5. ひとり暮らしの高齢者などの見守り
6. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い
7. 病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け
8. その他(具体的に )
9. 手助けしたいと思うことはない

問27-1 今後、ご近所とのおつきあいの中で、「手助けをしてほしい」と思うことがありますか。(あてはまるものすべてに )

1. 話し相手
2. 相談ごとの相手
3. 買い物や近くまでの外出などのつきそい・手伝い
4. 子どもを預かったり、外遊びの見守りなど
5. ひとり暮らしの高齢者などの見守り
6. 簡単な家の修理や掃除、庭の草刈りなどの手伝い
7. 病気など緊急時に看病をしたり、医者を呼ぶなどの手助け
8. その他(具体的に )
9. 手助けしてほしいと思うことはない

問28 あなたの外出時の移動手段、または主に利用する交通機関はどれですか。( は2つまで)

- |               |            |             |         |
|---------------|------------|-------------|---------|
| 1. 徒歩         | 2. 自転車・車椅子 | 3. 自家用車・バイク | 4. タクシー |
| 5. 伊丹市バス      | 6. 阪急・阪神バス | 7. J R      | 8. 阪急電車 |
| 9. その他(具体的に ) |            |             |         |

問29 地域住民が安心して暮らせるようにするために、必要だと思ふことは何ですか。  
( は3つまで)

1. ボランティアなどの参加の促進や支援
2. 住民が共に支え合うしくみづくりへの支援(住民同士や行政との協力・連絡など、助け合う組織)
3. 身近なところでの相談窓口の充実
4. 高齢者やしょうがいのある人も、在宅生活が続けられるサービスの充実
5. 保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実
6. 健康増進・維持のための相談や訪問指導などサービスの充実
7. 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
8. サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み
9. 福祉教育の充実
10. 高齢者、しょうがいのある人の入所施設の整備
11. 保育サービスや児童福祉施設の充実
12. 低所得者の自立支援
13. 市営住宅の充実
14. その他(具体的に )
15. わからない

地域福祉にかかわる機関や団体などについて

問30 市には、地域福祉を推進し、社会福祉への住民参加を促し意識の高揚を図るための諸活動を行う「伊丹市社会福祉協議会(市社協)」があります。あなたはこの組織をご存知ですか。(1つに )

1. 名前も活動の内容もよく知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
3. 名前も活動の内容もよく知らない

とい 問30-1 ししゃきょう じぎょう ぞんじ ぞんじ  
市社協の事業についてご存知ですか。(ご存知のものすべてに )

1. 地区社会福祉協議会などの地域住民による福祉活動の組織づくり
2. 市民のボランティア活動の振興
3. 福祉サロンやおもちゃライブラリーなど、地域参加による高齢者や子育て世帯への支援
4. ひとり暮らし高齢者への安否確認の電話訪問や給食サービス
5. 要介護者の見守りや支援活動
6. 視力障害のある人の移動支援事業・聴力障害のある人の手話通訳事業
7. しょうがいのある人の地域生活や就労に関する支援
8. 地域福祉総合センター・障害者福祉センター・地域包括支援センターの運営
9. 共同募金会・日本赤十字社の事務局運営
10. 民生委員児童委員連合会の事務局運営
11. いずれも知らない

とい 問30-2 ししゃきょう きたい  
市社協にどのようなことを期待しますか。( は2つまで)

1. 高齢者やしょうがいのある人などの福祉に関する総合相談サービスの充実
2. 介護保険や障害福祉サービス以外の在宅福祉サービスの充実
3. 児童福祉サービス、子育て支援の充実
4. 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育、ボランティア活動などの充実
5. 福祉に関する情報提供の充実(インターネットなどを含む)
6. 近隣同士の助け合いのしくみづくりとその充実
7. NPO活動など、市民活動への支援
8. 福祉に対する要望、ニーズの把握とサービスの企画・実施
9. 福祉団体への支援や育成
10. 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業:ひとり暮らしの認知症の高齢者や知的障害のある人など、ひとりで判断することが難しい人に対する金銭管理などのサービスや福祉サービスなどの利用支援)
11. 福祉に関する学習や講習、講演会などの開催
12. その他(具体的に )
13. 特に期待することはない

問31 あなたは、地域福祉の総合相談員である市社協のコミュニティワーカー（CW）をご存知ですか。（1つに ）

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. あまり知らない
4. まったく知らない

注3：「コミュニティワーカー（CW）」とは

地域において支援を必要とする人々の生活圏や人間関係などを重視した援助を行ったり、地域を基盤とする支援活動を発見して、支援を必要とする人に結びつけるなど、必要に応じて行政や各種団体と連携・協働しながら解決を図るなどの活動を行う人のことです。

問32 市内では、社会福祉の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会をめざし、民生委員・児童委員がさまざまな活動を行っています。あなたがお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。（1つに ）

1. 知っている
2. 知らない

問32-1 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知の内容を選んでください。（ご存知のものすべてに ）

1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談
2. 福祉に関する情報の提供
3. 高齢者など支援が必要な人への訪問
4. 子どもに関する相談
5. 関係行政機関の依頼による事実確認
6. いずれも知らない

問33 現在、あなたは福祉の団体活動をしていますか。また、そのかわりは何年くらいになりますか。（あてはまるものすべてに をし、期間を記入）

1. 福祉の仕事をしている（ 年）
2. 自治会、老人クラブ、地区社協などの地域団体に所属している（ 年）
3. ボランティアやNPO活動をしている（ 年）
4. 活動はしていない

問33-1へ

とい 問33- 1 問33で「3 ボランティアやNPO活動をしている」を選んだ方におうかがいします。

どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに )

- 1. 子育て支援
- 2. 児童・青少年の健全育成
- 3. ひとり暮らしなど高齢者に対する支援
- 4. しょうがいのある人に対する支援
- 5. 外国人に対する支援
- 6. 文化・教養・スポーツなど生涯学習関係
- 7. 環境美化、リサイクルなど環境関係
- 8. 食に関することや健康づくりの支援
- 9. 防犯や防災、その他地域の安全を守る活動
- 10. その他(具体的に )

とい 問34 現在、あなたまたは家族の方が、福祉団体のサービスや支援を受けていますか。また、そのかわりは何年くらいになりますか。(あてはまるものすべてに をし、期間を記入)

- 1. 本人または家族が介護保険や障害福祉サービスを利用している ( 年 )
- 2. 本人または家族が小地域福祉活動やボランティアによる支援を受けている ( 年 )
- 3. 本人または家族が社会福祉協議会事業による1・2以外のサービスを受けている ( 年 )
- 4. サービスや支援を受けていない

とい 問35 あなたは、福祉施設・企業などによる社会貢献や地域貢献についてどのように感じていますか。(1つに )

- 1. 貢献しているところが多い
- 2. 貢献しているところもある
- 3. 貢献しているかどうかわからない
- 4. ほとんど貢献していない

注4: 「社会貢献や地域貢献」とは

業務として提供しているサービスを除き、例えば地域行事への協力、施設開放、人材派遣、学習会の開催など、制度に定まっていな自主事業や活動のことで。

問36 あなたは、地域福祉に関する次のような考え方についてどう思いますか。

地域福祉の向上のために住民同士でお金を出し合い、「第4のポケット」として活用することについて、あなたはどう思いますか。(1つに )

1. どちらかというと同賛できる    2. どちらかというと同賛できない    3. わからない

注5:「第4のポケット」とは

小・中学校区などの限られた地域の中で、ひとり暮らし高齢者などへの支援活動の資金となるもので、本人の利用料以外のその趣旨に賛同する人からの寄付金、共同募金などで構成されます。この事業は、今年から全国の一部の市町村で国のモデル事業として実施されています。

注6:地域通貨のような取り組みについて、あなたはどう思いますか。(1つに )

1. どちらかというに関心がある    2. どちらかというに関心がない    3. わからない

注6:地域通貨(エコマネー)とは

限られた地域や仲間で、ボランティア活動など値段のつけにくい手助けや、環境・福祉・教育・文化などに関するやり取りをした時に、お礼として使います。

その他、地域福祉推進に関して、あなたのお考え・ご意見を自由にご記入ください。

質問は以上です。お忙しいところご協力いただきまして、誠にありがとうございました。